

## 2024年度 第1回「放送倫理・番組向上機構」理事会 議事録

1. 日 時 2024年5月29日(水)午後3時～4時
2. 場 所 千代田放送会館7階 BPO第1会議室
3. 出席者 大日向 理事長  
渡 辺 専務理事 神 田 理 事 (事務局長)  
岩 田 理 事(オンライン) 出 口 理 事(オンライン)  
傍 田 理 事 矢 吹 理 事  
堀 木 理 事  
上 田 監 事 本 橋 監 事  
山 極 理 事 (議決権行使書兼委任状提出)  
佐々木 理 事 (同上)  
(オブザーバー) NHK選任次期理事 辻村和人氏
4. 議 題 (1) 2023年度 業務報告について  
(2) 2023年度 決算報告について  
(3) 事務局長の選任について  
(4) 評議員の選任について  
(5) 放送人権委員会運営規則の一部改正について  
(6) その他
5. 配付資料 (1) 2023年度 業務報告書 (案)  
(2) 2023年度 決算報告書 (案)  
(3) 正味財産増減計算書の概要(前年度比)  
(4) 正味財産増減計算書の概要(予算比)  
(5) 2024年度BPO役員・事務局名簿  
(6) 2024年6月BPO役員 (案)  
(7) 評議員の選任について (案)  
(8) 放送と人権等権利に関する委員会運営規則改正案  
(9) 放送人権委員会運営規則 対照表  
(10) B P O最近の動き

-----  
<参考資料>

◇ B P Oパンフレット

◇ 放送倫理・番組向上機構 規約

## 6. 議事内容

BPO規約第15条第3項に基づき、大日向理事長が議長を務め、開会を宣言した。

議長からの求めにより、神田理事・事務局長が「理事総数10名のうち、BPO会議室に6名、オンライン2名、議決権行使書兼委任状の提出2名により、理事全員が出席または出席とみなされることから、BPO規約第15条第2項に基づき、本理事会は有効に成立する」旨を報告し、議事に入った。

### 議題(1) 2023年度業務報告について

神田理事・事務局長から、2023年度業務報告書案について、次のとおり説明があった。

- 2023年度は放送倫理検証委員会が2つの事案について、放送人権委員会が1つの事案について委員会決定を通知・公表した。いずれの委員会も対面での活動が中心となり、委員と放送局の制作者などが意見を交わす「意見交換会」も年度後半に委員が地域に出向いて交流する形で実施した。
- 放送倫理検証委員会は、NHK「ニュースウォッチ9」の事案について12月5日に、TBSテレビ「news23」の事案について1月11日に、それぞれ通知・公表を行った。いずれの局からも委員会の意見を真摯に受け止めていただき、その後の対応についても報告を受けた。また、1月26日には、関西のラジオ局12局31名の参加を得て、意見交換会を実施した。
- 放送人権委員会は、7月18日に、あいテレビ「ローカル深夜番組女性出演者からの申立て」に関する委員会決定を通知・公表した。また、1月16日に全国の放送局を対象に、1月31日には福岡・大分地区の放送局との意見交換会をそれぞれ実施した。このほか、放送人権委員会の委員会決定79件を収録した「判断ガイド2024」を刊行し、BPOウェブサイトにも電子ブック版を掲載した。
- 青少年委員会は、毎月の委員会のほか、11月22日に、石川県の放送局を対象に意見交換会を実施した。また、全国の中高校生モニター30名から番組に関する意見をレポートしてもらい、ウェブサイトでも公開したほか、3月にはオンラインでの放送局見学会（TBSテレビ）と意見交換会を行った。
- 2023年度に寄せられた視聴者意見の総数は28,116件で、前年度より6,797件、約32%増加した。「芸能事務所における性加害問題」が影響している。  
寄せられた意見は、ウェブサイト経由87%、電話によるものが11%となっている。
- 評議員会は、10月25日にオンライン併用で開催した。2023年3月で任期満了となる3委員会委員のうち4名を再任し、新たな委員3名を選任した。
- 理事会は、第1回を5月26日に開催し、2022年度業務報告・決算報告を承認し、事務局長を選任した。第2回は3月15日に開催し、能登半島地震に伴う石川県民放5社の会費免除、2024年度事業計画・収支予算、事務局職制規程の改正をそれぞれ承認し、評議員を選任した。
- BPOは2023年7月1日に設立20年を迎え、2023年度は3つの記念事業を行った。新しいBPOのPRスポットは、7月から会員各社で放送してもらっているほか、7月14

日には記念セッションを開催し、オンライン配信を含めて約 500 名の参加があった。3 月には「BPO の 20 年 そして放送のこれから」という記念冊子を刊行し、ウェブサイトには電子ブック版を掲載した。

- 「芸能事務所における性加害問題」について、BPO にも多くの視聴者意見が寄せられ、各委員会での議論も踏まえ、人権週間が始まる 12 月 4 日に大日向雅美理事長名の見解を公表した。
- 2023 年度の年次報告会を 2 部構成で 3 月 22 日に開催した。第 1 部は、理事長見解を受けての特別シンポジウムとし、放送局の対応やジェンダー問題について議論した。第 2 部は 3 つの委員会の活動状況を報告した。
- 広報関係では、委員会決定を受けての記者会見を 3 回実施したほか、加盟局への講師派遣は 6 局にオンライン形式を中心に派遣し、約 630 名が参加した。また、国際活動として、5 月に開かれたインドネシアでのアジア・メディア・サミットや、12 月 19 日にはドイツのテレビ自主規制機関 F S F と BPO 放送人権委員会のオンライン交流などを通じて、BPO の活動を紹介した。

以上の説明を受け、次の質疑応答があった。

- ・ 20 周年を記念して新たに制作した PR スポットは、どのくらいの反響があったのか、今年度以降はどうしていくのか。
- ・ (神田理事・事務局長) 一般の方々の BPO への理解を深める活動は、これからも継続していかなければならないと考えている。PR スポットは、今年度以降も、引き続き放送してもらうようお願いしている。

議長がそのほかの意見や質問を求めたところ、特に発言はなかった。議長が 2023 年度業務報告書案について承認の可否を諮り、議決権行使書による意思表示を含め、全会一致で承認された。

## 議題(2) 2023 年度決算報告について

渡辺専務理事から、2023 年度決算報告書案について、次のとおり説明があった。

(貸借対照表)

- 流動資産は現金預金などで 1 億 718 万円。
- 固定資産のうち特定資産は 8,554 万円で、退職給付引当資産と緊急対策引当資産。その他の固定資産は「建物附属設備」「什器備品」など合計 631 万円。固定資産合計は 9,186 万円。
- 流動資産と固定資産を合わせた資産合計は 1 億 9,905 万円で、前年度比 278 万円の増加。
- 流動負債は未払金と預り金で合計 1,820 万円。固定負債は退職給付引当金と緊急対策引当金で合計 8,554 万円。負債合計は 1 億 375 万円で、前年度比 822 万円の増加。
- 正味財産合計は 9,529 万円で、前年度より 543 万円の減少。

(正味財産増減計算書)

- 受取会費は、前年度と同額の合計 4 億 500 万円。資料収益、受取参加費、受取負担金、雑収益を含めて、経常収益は合計 4 億 582 万円となり、前年度比で 46 万円の増。
- 事業費は 3 つの委員会費や視聴者対応、広報関係のほか 20 周年記念事業を含め総額で 3 億 54 万円。人件費等の減により、前年度比 18 万円の減少。
- 管理費は人件費や事務所費、一般事務費で総額 1 億 1,071 万円。前年度比 108 万円の減。
- 以上により、経常費用の合計は 4 億 1,125 万円となり、経常収支増減額および当期一般正味財産増減額は 543 万円のマイナス。正味財産期末残高は 9,529 万円となった。

続いて、本橋監事から「5 月 20 日、上田監事とともに 2023 年度の業務執行状況と決算について報告を受け、総勘定元帳などの関係書類を確認したところ、決算報告書案が正確である」と発言があった。

以上の説明を受け、次のとおり質疑応答があった。

- ・ 予算よりも赤字幅が縮小しているが、どのような節減努力をしたのか。
- ・ (渡辺専務理事) 委員会の審議・審理件数が予算上の想定よりも少なかったことや、印刷物の PDF 化を進め、印刷部数の見直しなどを行ったことで経費を抑えることができた。

議長がそのほかの意見や質問を求めたところ、特に発言はなかった。議長が 2023 年度決算報告書案について承認の可否を諮り、議決権行使書による意思表示を含め、全会一致で承認された。

### 議題(3) 事務局長の選任について

NHK 理事から「NHK 選任理事の神田真介事務局長が 5 月末日で退任し、6 月 1 日に辻村和人氏が NHK 選任理事に就任することになった」との報告とともに、1 年での交代となったことについて丁寧な説明があった。これを受けて、民放連理事、専務理事、理事長からそれぞれ意見などが述べられた。

そのうえで議長から「次の事務局長に辻村和人氏を選任したい」旨の提案があり、議決権行使書での意思表示を含め、全会一致で承認された。

新たに事務局長に選任された辻村氏からあいさつがあった。

### 議題(4) 評議員の選任について

渡辺専務理事から「前回(3 月 15 日)の理事会で承認を受けた評議員の候補案と交渉順位にもとづき交渉した結果、津田塾大学学長の高橋裕子氏から内諾を得た」として、6 月 1 日付での評議員選任について提案があった。

以上の提案を受けて、議長が質問・意見を求めたところ特に発言がなかったため、議長が承認の可否について諮り、議決権行使書での意思表示を含め、全会一致で承認された。

#### 議題(5) 放送人権委員会運営規則の一部改正について

渡辺専務理事から「放送人権委員会運営規則の一部改正は、現在の委員会運営を踏まえ、ヒアリング対象に制作会社等を含めることなどを明記するものである」との説明があった。

これを受け、議長が質問・意見を求めたところ特に発言がなかったため、議長が放送人権委員会運営規則の一部改正案について承認の可否を諮り、議決権行使書での意思表示を含め、全会一致で承認された。

#### 議題(6) その他

渡辺専務理事から、最近のBPOの活動として、3月22日のBPO年次報告会と、新体制での委員会活動について報告があった。

議長がその他全般について発言を求めたところ、特に発言はなく、最後に神田理事・事務局長から退任あいさつがあった後、議長が議事運営への協力に謝辞を述べ、理事会の閉会を宣言した。

以上